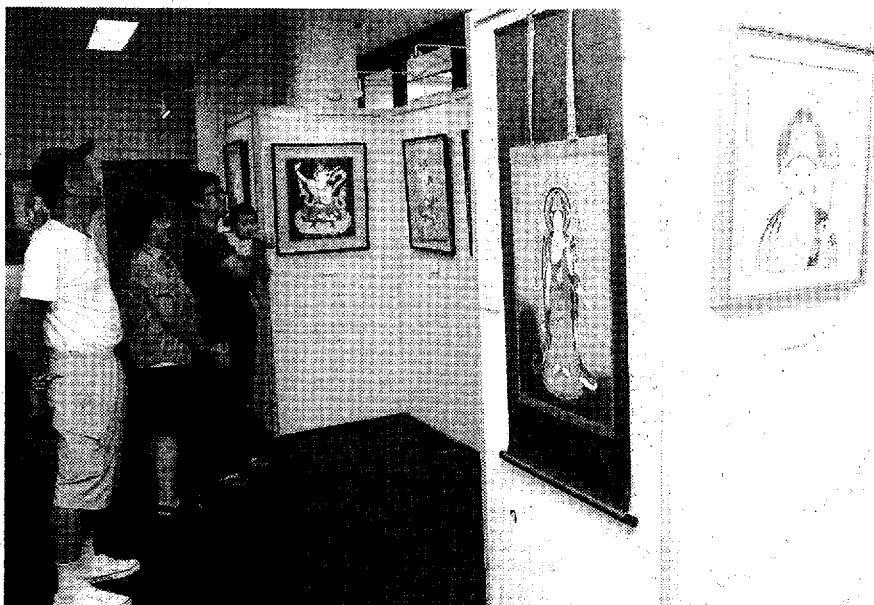


色鮮やかな仏画並ぶ

上原仏教美術館に写仏教室作品37点

下田市宇土金の上原仏教美術館で、同館の写仏教室受講生の作品展が開かれた。



色鮮やかな仏画が並んだ写仏教室作品展＝下田市宇土金、上原仏教美術館

仏画を初めて学ぶ一年

写仏教室は同館で毎月第四金曜日に開講。尾藤政招氏（千葉、山田正枝氏（東京）の両講師の指導で三十八人が学んでいる。今回

は伊豆各地や富士市などから通う受講生三千五人が参加し計三十七点（軸一点、額三千点、色紙など六帖）の一部、入れ替え展示あり）を出品した。

このほか、観音菩薩や地藏菩薩、勢至菩薩、鬼子母神を展示。複雑で繊細な線と、鮮やかな色彩が魅力の仏画の世界を築しめる。

写仏教室では仏画家・安達原文氏の下絵をチャコペーパーという転写紙で色紙や日本画用の和紙に転写し、線を起こした後、岩絵の具で彩色をしていく。

同展は九月三十日まで。午前九時～午後五時（入館は四時半まで）。入館料は大人三百円、子供二百円。問い合わせは同美術館へ電05558（28）1216へ。

写仏教室

目の受講生は観音の頭部を色紙に描くことから始め、次第に大きな作品に挑む。その後、描く作品は指導する講師によって異なるが、何年も続けて

いる上級生は胎蔵界曼荼羅の中にある一尊である寂留明菩薩（じゃくろみ

ようぼさつ）を描き、細かな彩色をした作品に仕上げた。

挑む。その後、描く作品は指導する講師によって異なるが、何年も続けて

いる上級生は胎蔵界曼荼羅の中にある一尊である寂留明菩薩（じゃくろみ

ようぼさつ）を描き、細かな彩色をした作品に仕上げた。

このほか、観音菩薩や地藏菩薩、勢至菩薩、鬼子母神を展示。複雑で繊

細な線と、鮮やかな色彩が魅力の仏画の世界を築しめる。

写仏教室では仏画家・安達原文氏の下絵をチャ

コペーパーという転写紙で色紙や日本画用の和紙

に転写し、線を起こした後、岩絵の具で彩色をしていく。

同展は九月三十日まで。午前九時～午後五時（入館は四時半まで）。入

館料は大人三百円、子供二百円。問い合わせは同

美術館へ電05558（28）1216へ。